

🎉 **ニューイヤー名曲コンサート2024** 🎉

🎶 **プログラム** 🎶

2024年が始まりました。名曲の数々をお届けするニューイヤー名曲コンサートでお楽しみください。前半は昨年12月に特集した「2023年に旅立たれた名演奏家を聴く」で取り上げる事が出来なかった二人の音楽家の演奏を2曲。**アンドレ・ワッツ (1946.6.20~2023.7.13)** はハンガリー人の母とアメリカ人の父のもと、ドイツ、ニュルンベルクで生まれ、1963年バーンスタインのサポートで演奏して以来、世界的なピアニストとなりました。曲は得意とするリストの“ラ・カンパネッラ”です。**坂本龍一 (1952.1.17~2023.3.28)** は東京芸術大学大学院修士課程修了後、テクノポップバンド「イエロー・マジック・オーケストラ」を結成し一世を風靡。解散後は映画音楽を中心に本格的に作曲活動を開始、1987年の映画「ラストエンペラー」ではアカデミー作曲賞を受賞し、多くの映画作品を手がけました。今日は代表作「戦場のメリークリスマス」を弾き振りした演奏でお聴きください。巨匠**ダヴィッド・オイストラフ (1908~1974)** が弾き振りしたバッハの**フランテフルク協奏曲第4番**は、北欧、フィンランド放送響との共演。現代を代表するイスラエルの名ヴァイオリニスト**ギル・シャハム (1971~ )** の弾く**メンテルスゾーンのヴァイオリン協奏曲**は、この当時若干19歳。名匠**サヴァリツシュ**の指揮のもと、みずみずしい演奏を聴かせています。後半は、チェコの名指揮者**ヴァーツラフ・ノイマン (1920~1994)** がウィーン・フィルを振っての**ドヴォルザークの交響曲第9番「新世界より」**。チェコ・フィルの時とはひと味違う名演奏をお聴きください。最後は映画音楽の巨匠**ジョン・ウィリアムズ (1932~ )** がサイトウ・キネン・オーケストラを指揮した「**レイダース**」で締めくくります。今年もよろしくお願ひします。(中川)

\*\*\*\*\*

**フランツ・リスト (1811~1886):**

**パガニーニによる大練習曲~第3番嬰ト短調“ラ・カンパネッラ”**

アンドレ・ワッツ (P)

(1986.11.22 東京文化会館大ホールでのLive)

**坂本龍一(1952~2023):**

**映画“戦場のメリークリスマス”~ミスターローレンス**

坂本龍一 (Pと指揮) 東京フィルハーモニー交響楽団

(2014.4.4 サントリーホールでのLive)

**ヨハン・セバスティアン・バッハ (1685~1750):**

**フランテフルク協奏曲第4番ト長調BWV.1049**

ダヴィッド・オイストラフ (Vnと指揮) フィンランド放送交響楽団

(1970.5.14 ヘルシンキ、ハウス・オヴ・カルチャーでのLive ~ヘルシンキ芸術週間~)

**フェリックス・メンテルスゾーン (1809~1847):**

**ヴァイオリン協奏曲ホ短調Op.64**

ギル・シャハム (Vn) / ヴォルフガング・サヴァリツシュ指揮ウィーン交響楽団

(1990.10.11 ウィーン・ムジークフェラインサールでのLive)

\*\*\* 休憩 \*\*\*

**アントニン・ドヴォルザーク (1841~1904):**

**交響曲第9番ホ短調Op.95“新世界より”**

ヴァーツラフ・ノイマン指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

(1987.12.20 ウィーン・ムジークフェラインサールでのLive)

**ジョン・ウィリアムズ (1932~ )**

**映画“レイダース/失われたアーク”~レイダース・マーチ**

ジョン・ウィリアムズ指揮サイトウ・キネン・オーケストラ

(2023.9.5 サントリーホールでのLive)

# 曲目解説

## リスト：「パガニーニによる大練習曲」第3番嬰ト短調“ラ・カンパネツラ”

ハンガリー生まれのリストは、「ピアノの魔術師」と呼ばれ、卓越した技巧を持つヴィルトウオーヴ・ピアニストとしてヨーロッパ各地で活躍しましたが、ワイマール宮廷楽長に就任した1848年頃からは作曲に専念するようになり、リストがピアノ用に編曲したもので、6曲からなり、第3番の「ラ・カンパネツラ」はヴァイオリン協奏曲第2番から、他は「24の奇奏曲」から取られています。1851年に改訂され、今日一般に演奏されるのは、この改訂版ですが、1838年の初版は「パガニーニによる超絶技巧練習曲」と呼ばれています。「ラ・カンパネツラ」はリストの最も良く知られたピアノ作品のひとつです。

## 坂本龍一：映画“戦場のメリークリスマス”～ミスターローレンス

坂本龍一は1952年東京生まれ。幼い頃からクラシック音楽に親しみ、東京芸術大学大学院修士課程修了後、1978年「千のナイフ」でアルバムデビュー。同年、テクノポップバンド「イエロー・マジック・オーケストラ(YMO)」を細野晴臣、高橋幸宏とともに結成し、一世を風靡しました。1983年YMO解散後は映画音楽の作曲を本格的に開始。1987年ベルナルド・ベルトルッチ監督作「ラストエンペラー」で日本人として初めてアカデミー作曲賞を受賞。その後も多くの映画音楽を手がけましたが、一方で、2010年、箏奏者・沢井一恵のために「箏とオーケストラのための協奏曲」を書き上げ、2019年には、弦楽四重奏曲「パッサージュ」を発表するなど、ジャンルを超えた創作活動を展開しました。1983年、大島渚監督作の「戦場のメリークリスマス」は、日本軍捕虜収容所で起こるイギリス人将校たちとの運命的な出会いと葛藤を描き、坂本龍一も俳優として出演しました。音楽も高く評価され、坂本龍一の代表作のひとつとなっています。

## バッハ：ブランデンブルク協奏曲第4番ト長調BWV.1049

バッハの生家は、ドイツ、チューリンゲンに200年近く定住した旧家で、それまでに50人以上の音楽家を排出した大音楽家系で、数々の傑作を残しました。ブランデンブルク協奏曲は、1717年ケーテン宮廷楽団の楽長となり、様々な機会に演奏された協奏曲を6曲選んでまとめたもので、作曲年は各曲ごとに異なっていますが、第3番と第6番は1717年以前、他の4曲は1717年から1720年頃に書かれたとされています。1721年ブランデンブルク辺境伯クリスティアン・ルートヴィヒに献呈されたため、ブランデンブルク協奏曲と呼ばれています。第4番は1720年頃作曲され、ヴァイオリンとフルートが活躍しますが、特に第1、第3楽章は、ヴァイオリン協奏曲的です。流れるような美しさを持つ名曲です。  
第1楽章 アレグロ 第2楽章 アンダンテ 第3楽章 プレスト

## メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲ホ短調作品64

銀行家を父に持ち、ハンブルクの裕福な家庭に生まれたメンデルスゾーンは、38年という短さにもかかわらず、最も恵まれた幸せな生涯を送った作曲家でした。ヴァイオリン協奏曲ホ短調は、1838年28歳の時に着手、1844年に完成した作品で、当時ライプツィヒ・ゲヴァンハウス管弦楽団の常任指揮者だったメンデルスゾーンが、親しい間柄であったコンサートマスターのフェルナンド・ダヴィットに贈るつもりで書き始め、演奏技巧などの細かい点についてダヴィットの助言を受けて完成させました。初演は1845年3月13日、ダヴィットの独奏とゲヴァンハウス管弦楽団によってゲヴァンハウスで行なわれましたが、健康状態がすぐれなかったメンデルスゾーンに変わって副指揮者のガーデが務め、大成功を収めました。甘美な旋律と均斉のとれた香り高い作品として人気の高い傑作です。  
第1楽章 アレグロ・モルト・アパッショナート 第2楽章 アンダンテ 第3楽章 アレグロ・ノン・トロツポ

## ドヴォルザーク：交響曲第9番ホ短調作品95「新世界より」

1841年9月8日にチェコのネラホゼヴェスで生まれたアントン・ドヴォルザークは、生涯9曲の交響曲を残しましたが、生前に出版された第5番以後の5曲と、その後残りの4曲が出版、年代順に整理され、第5番の交響曲が第9番「新世界より」となりました。1890年ブラハ音楽院作曲家の教授となったドヴォルザークは、すでに不動の地位にありましたが、2年後の1892年9月、ニューヨーク国立音楽院院長就任の依頼を受け渡米、1895年まで在任しました。アメリカでの生活は、素朴なアメリカ民謡や黒人霊歌から強い刺激を受け、1893年5月にその成果として最初に完成したのが、交響曲第9番「新世界より」です。その年の12月16日、アントン・サイドル指揮ニューヨーク・フィルによってカーネギーホールで行なわれた初演は、大成功でした。今日最も演奏頻度が高く人気のある名曲です。

第1楽章 アダージョアレグロ・モルト 第2楽章 ラルゴ  
第3楽章 モルト・ヴィヴァーチェ 第4楽章 アレグロ・コン・フォコ

## ジョン・ウィリアムズ：映画“レイダース/失われたアーク”～レイダース・マーチ

1932年2月8日ニューヨーク生まれ。カリフォルニア大学で作曲家カステルヌオーヴォ＝テデスコに師事。1955年ジュリアード音楽院ピアノ科へ進学し、ロジーナ・レヴィンに師事、最初はジャズ・ピアニストとして活動しました。1965年のテレビシリーズ「宇宙家族ロビンソン」の音楽を担当してからキャリアを積み上げ、1972年の「ジョーズ」で初のアカデミー作曲賞を受賞。その後も通算5回の受賞、ノミネートに至っては52回に上ります。また小澤征爾の推薦を受けて1980年から1993年までボストンポップス管弦楽団の首席指揮者を務め、その後名誉指揮者となっています。ヴァイオリン協奏曲やロサンゼルス・オリンピック・ファンファーレ等、映画音楽以外の作品まで多彩で、近年はウィーン・フィル、ベルリン・フィルを指揮して話題をさらっています。映画「レイダース/失われたアーク」は1981年のステイヴン・スピルバーグ監督によるヒット・シリーズの第1作で、「スター・ウォーズ」シリーズと並んで最も馴染みのある名曲です。今回は初共演のサイトウ・キネン・オーケストラとの演奏。